

第9回デフリンピック運営委員会議事概要
(書面報告)

1. 開催方法 書面報告

2. 開催日 2024年12月23日(月)

3. 委員

委員長 久松 三二(一般財団法人全日本ろうあ連盟 常任理事)

副委員長 薬師寺 道代(医師)

委員 石原 保志(国立大学法人 筑波技術大学 学長)

延與 桂(公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会 会長)

太田 陽介(一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事)

畑中 淳子(弁護士)

早瀬 久美(デフリンピック選手)

古屋 留美(東京都生活文化スポーツ局長)

4. 報告事項の内容

(1) 東京2025デフリンピック「大会規模(計画額)」の収入について

令和7年度の大会開催に向け、昨年12月26日に公表した「大会規模(計画額)」の収入内訳を整理した。

(2) 東京2025デフリンピック 開閉会式について

開会式は2025年11月15日(土)16時30分~19時、閉会式は2025年11月26日(水)16時30分~18時を予定しており、東京体育館で行う。

開閉会式は、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)によって定められた式典構成とする。式典は、きこえない・きこえにくい人、きこえる人など、誰しものが共感できるようなものを目指し、演出家2名を起用する。

5. 委員からの主な意見

- ・資金が、デフリンピックに参加するアスリートと併せて、通訳等の支援者の活動に役立てられることを期待する。
- ・式典だけでなく、デフリンピックならではの各競技のルールや方法、アスリートの努力、支援者の活動紹介等についてマスコミを通して世間に周知するためには、メディアへの説明内容が重要だと考える。
- ・大会資金については、税金が使用されることから、無駄なく効率的に活用していただきたい。また、レガシーが残せる大会を目指していかなければならない。
- ・開閉会式については、素晴らしいコンセプトだと思う。演出家の人選も期待できるものがある。
- ・一人でも多くの方に大会を見ていただけるよう、マスコミ各社へ協力を呼びかけていただきたい。

- ・国に対しても必要な支援を求めるなど、関係機関と連携して大会を作り上げていくことが重要である。
- ・より多くの方々に参画・支援をいただき、社会全体で支える大会を実現していきたい。そのような大会となるよう都としても大会準備に必要なサポートをしていく。
- ・開閉会式については、きこえない・きこえにくい人と、きこえる人がともにつくりあげ、共生社会の実現につながる式典としてほしい。

以上